66 郷土の「人・もの・こと」を活用してすすめる図書館活用教育

大分県 臼杵市立臼杵小学校

基本データ

所在地	臼杵市大字臼杵65番地
児童生徒数	255 人
教職員数	20 人
蔵書数	9,728 冊
年間貸出冊数	37,933 冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】計画的・組織的な運営・活用

【活動のねらい】

- （1）学校図書館活用授業の推進
  地域素材を活用し、児童が相手意識・目的意識を持って教材文を読み、リーフレットや新聞などで「ことば」を発信していく力を培う。
- （2）読書活動の推進
  読みたい本を読むだけでなく、読んだ本をもとに「おすすめの本カード」づくりを毎月実施し、廊下に掲示することで、読書意欲を高める。「読み聞かせ」活動をボランティアや教職員が継続的に実施していくことで、本に親しむ心情を培う。
- （3）臼杵っこ検定受検の取り組み（高学年児童全員受検）
  臼杵の歴史や文化、先人について学び、郷土を愛する心と態度を培い、臼杵大好き「臼杵っこ」を育てる。

取組・活動の概要

（1）学校図書館活用授業の推進

- 全学年の国語科で「つけたい力」を明確にし、単元を貫く言語活動を中核にした授業の推進

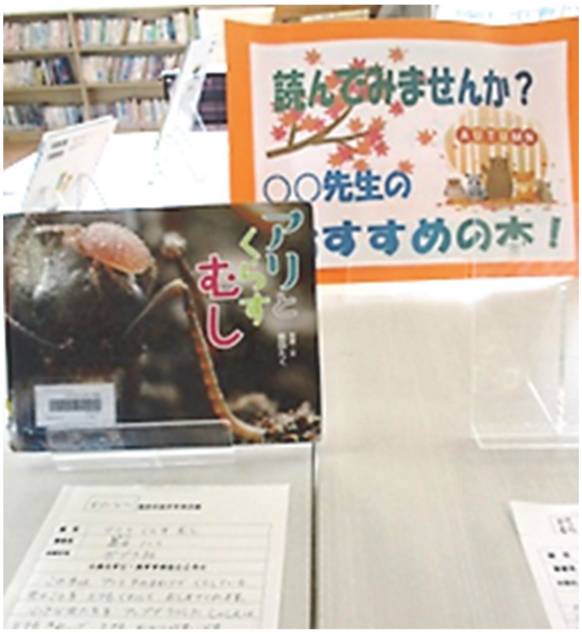
（2）読書活動の推進

- 「全校朝読書」「読書祭り」「図書館だより発行」「読み聞かせボランティアの活動」「おすすめの本カード」の取り組み推進

（3）臼杵っこ検定受検の取り組み

- 臼杵市が主催する郷土を題材にした「検定試験」に５・６年全員が受検。市教委の文化財研究員による校区の史跡巡りの実施等

３年「すがたをかえる大豆」と関連
【すがたをかえる○○ブック】



先生方のおすすめの本

取組・活動の工夫や特徴

（1）学校図書館活用授業の推進

- 図書館活用についての系統的な「年間カリキュラム」を作成し実践を積み重ねるとともに、随時見直しを行っていく

（2）読書活動の推進

- 図書館専門員による図書館経営と図書館利用促進の取り組みのベクトルを合わせていく

- 図書委員会による「読書祭り」「ブラックシアター」の取り組みを推進していく
- 図書館専門員と図書担当教員による「リクエスト本の受付」「先生方のおすすめの本」「NIE の取り組み」「季節に合わせた本の紹介」「防災コーナーの設置」等の取り組みを進める

（3）臼杵っこ検定受検の取り組み

- 臼杵市教育委員会配布の「ルート 18」のコーナー設置や臼杵市が行う検定試験を高学年の全児童が受検するよう推進を図る

取組・活動の成果や今後の展望

（1）学校図書館活用授業の推進

【国語の学力の向上（県学調結果より）】

- 偏差値は、平成 22 年度：48.1 から令和元年度：56.6（+8.5 ポイント）
- 目標達成率は、平成 22 年度：57.1%から、平成 29 年度：87.2%（+30.1%）
- 今後は、全学年での実践交流の場を設けるなどして、授業の一層の充実を図っていく

（2）読書活動の推進

【学校図書の一人当たりの貸出冊数の伸び】

- 一人当たりの貸出冊数は、平成 21 年度：103 から平成 30 年度:148（+45 冊）

【各種コンクールでの受賞】

- 平成 27 年度「うすき読書のまちづくり・エッセイコンクール」では読書感想文で最優秀賞の「市長賞」を受賞
- ６年生２名が「大分県子ども司書」に認定されるとともに、ポップコンテストで最優秀賞を受賞
- 今後は、図書委員会の活動の充実・発展を図るとともに、読み聞かせボランティアの活動と各担任の国語科授業の関連を一層図っていく

（3）臼杵っこ検定受検の取り組み

- 市内での受検児童の多数を本校児童が占める
  平成 30 年度の受検者は、臼杵市受検児童の８割以上を占める
- ガイド認定者の増加
  上級合格を経て、臼杵っこガイドになる児童が 18 名にのぼっている（これまでのガイド認定者の 22%を本校児童が占める）
- 臼杵大好き臼杵っこの取り組みが児童会行事「ワイワイ探検隊」へと発展（縦割りなかよしチームによる臼杵の町並み探検活動）
- 今後は、「ルート 18」の読書活動やそれをもとにした調べ学習、見学等、より一層の活用を図る